

パラレル宇宙 STAP宇宙 般  
若宇宙

asobin

# 私たちのすぐ側にある

---

その入り口は私たちのすぐ側にある

彼らは絶対にそこには行けないという

しかし

実はすぐ側にある

あなたも思い当たるはず

.....

確か目覚ましをセットしたのに・・・誰が触ったの～！！

確かにメールしたはずなのに・・・

確かにメールが来ていたはずなのに

確かにあの人を見かけたのだが

出かける前にはちゃんと持っていたのに 準備したのに

確かにあったのに無くなってしまって、盗まれるはずはないのに

確かに聞こえたのに

確かに見えたのに

確かにに匂ったのに

神隠し

.....

気のせい

ポケたの 歳のせい

幻覚

ぶっ飛んだ 天の音がした

そう思うことでつじつまを合わせていた

実は

パラレルワールド パラレル宇宙に迷い込んだ自分

今いるのは 戻ってきたのか

いや別の宇宙に渡ってしまった自分

区別することは出来ない

パラレル宇宙

その向こうには

生きている自分とその世界

そことは別の自分だけが存在しない世界

死んでしまったのか はじめから存在しないのか生まれていないのか

そのいずれも同時に存在する だからパラレル世界

平行空間だけではない

結ばれた紐のように

過去と未来もより添っている ねじれた空間も存在する 過去と未来が一点で繋がっている世界

新しい発見も 新しい発明も

真実であった世界と 存在しない虚偽の世界

それらは思考と共に存在する

思考の数だけ存在する

すべての人の思考の数はきっと永遠であり 星の数より多くの思考がある

星の数より多くのパラレル宇宙が存在する

それらが同時に存在する

真実であった世界では 誰もがそれを認め

存在しない虚偽の世界では それを誰にも証明することは出来ない

彼女自身ですら

彼女が垣間見たのは、存在したパラレルワールドでの真実

そこでは彼女は天才と呼ばれ

存在しないパラレルワールドでは、だれも証明することは出来ない

そこでは彼女は嘘つきと呼ばれる

すべての存在は 空である そして無である

そして空はすべての存在を作り出す

あなたのすぐ側に隣の宇宙がある

ブラックホールのように見えないけど入り口が開いて

知らない間に入り口をすり抜けてしまう

迷い込んだらもう戻れない・・・かもしれない

幸いなのは 誰もそれに気付かないこと

迷い込んでも気付かない

ほらあなたの後ろ パラレル宇宙の入り口が迫り来ている